たのしくあそぶまちづくりを応援する情報誌「たむたむ」

tam tam

2025.9
VOL.36
丹波市市民活動支援センター

本とまちづくり
市民協働で運営する
図書館のこれからを考える

ライブラリーカフェ
mamimumemo BOOKBOOK

特集

市民に寄り添い
ともに学ぶ、つながる、つくる
みんなの図書館

活動紹介

ちーたん文庫 FRIENDS
みんなのとしょぶ TAMABA
TOSHO BU!

コーナー

丹波市内の「本のある場所」
を紹介！

特集

市民に寄り添い ともに学ぶ、つながる、つくる みんなの図書館

みなさんは図書館と聞いてどんなイメージが湧いてきますか。「静かに過ごす場所」、「本を読む場所」、そんなイメージを持つ方が多いかもしれません。「図書館は本を借りる場所」という印象が強いですが、それだけが本来の役割ではありません。近年、地域の〝知の拠点〟としての図書館のあり方が見直され、「滞在型図書館」、「居場所としての図書館」、「課題解決を支える図書館」など、様々な図書館が生まれています。

丹波市では、「丹波市図書館ビジョン」が本年3月に策定され、「市民に寄り添いともに学ぶ、つながる、つくる みんなの図書館」をグランドビジョンとして、新たな取り組みが始まろうとしています。

本特集では、『「本とまちづくり」市民協働で運営する図書館のこれからを考える』という視点から、図書館や本のある場所を通じて育まれる人と人のつながり、学び合い、そして地域に開かれた居場所としての可能性を探ります。「本・人・まちが出会う場所」、そこには、これからのまちづくりのヒントがあるかもしれません。

市民協働で運営するみんなの図書館

「丹波市図書館ビジョン」では、これから10年間の図書館づくりの柱として6つの運営方針を掲げています。

① 市民の暮らしや活動に役立つ、
地域の情報拠点としての図書館
② こども読書活動の推進に取り組む図書館
③ すべての市民が利用しやすい、便利な図書館
④ すべての市民が安心して過ごせる、
居場所としての図書館
⑤ 市民協働で運営するみんなの図書館
⑥ まちの変化に対応する図書館

過去10年の利用実績をふり返ると、2015年度に有効登録者9，048人だったのが、2023年度には6，495人に減少、貸出総数も約16%減少しています。コロナ禍以降のデジタル化の進展、人口減少・高齢化といった社会変化、市民・利用者向けのアンケート調査、ワークショップでの多様な意見を踏まえて、今後10年間の方針がまとめられました。

特に「市民協働で運営するみんなの図書館」では、丹波市の図書館はすでに読み聞かせボランティアグループや図書館サポーターなど、多くの市民活動に支えられています。しかし、活動の場や内容が限られていたり、参加のきっかけが分かりづらいという課題がありました。また、市民アンケートでは「図書館づくりにもっと関わりたい」という声もあり、市民参加の仕組みを広げる必要性が見えてきました。この方針には、図書館を「利用する場所」から、「一緒につくる場所」にしていきたいという考えが込められています。図書館が本を借りるだけでなく、企画や運営、情報発信など、様々な形で市民が関われる環境をつくることで、図書館の魅力が高まり、市民が活躍する場が生まれていきます。「市民協働で運営するみんなの図書館」に向けて、図書館、行政、市民には次のような役割が考えられます。

【図書館】 市民活動の受け皿として、サポーター登録や企画会議など、市民が参画できる仕組みを整え、市民が得意なこと・好きなことを活かせる場を提供する
【行　政】 市全体のまちづくりや生涯学習施策と連動させ、活動の価値を広げる
【市　民】 自身の興味や特技を活かして、図書館で行われるイベントの企画や運営に参画し、利用者目線で意見や提案を届ける

これからの図書館は、本を読むだけの場所から、学びや交流、新しい活動を生み出す拠点へと広がっていきます。市民一人ひとりの参加やアイデアが加わることで、図書館は地域に根ざした「みんなの居場所」として成長します。世代や立場をこえて人が集まり、知恵や経験を共有し合える図書館は、地域の未来をつくる大きな力になります。そして、あなたの一歩が、図書館の、そしてまちの可能性をひらくきっかけになります。

図書館のビジョンは
QR コードから
ご確認ください▼

ちーたん文庫 FRIENDS

JR福知山線と加古川線の接続駅である谷川駅の待合室に、「ちーたん文庫」があります。2024年7月8日に「まちライブラリー」としてオープンし、「ちーたん文庫FRIENDS(以下、フレンズ)」のメンバー7名によって運営され、メンバーが持ち寄ったり購入したりした約300冊の本が並びます。本棚の周囲には季節ごとに変わる手作りの飾りや利用者のおすすめ本の紹介があり、訪れる人々が楽しめるよう、工夫されています。絵本、漫画、小説など、幅広い世代が楽しめる本があり、誰でも借りることができます。

発案者の大原隆子さんは、大阪市立図書館で長年司書として勤務し、谷川駅を利用して通勤していました。その経験から、駅の待合室に本棚を設けることで、利用者がホッとできる空間ができ、子どもから大人までの交流が生まれ、地域の活性化につながるのではないかと考えるようになりました。大原さんはこのアイデアを久下自治振興会に提案し、JRや丹波市との協議を経て、文庫の設置が決定し、設置に向けて賛同者の輪が広がっていきました。そして、地元の木材を用いて製作した看板やブックエンド、手作りの壁掛け、しおり、苔玉などを設置して、オープンの日を迎えました。

その後、山南中学校の学校運営協議会の委員をしているメンバーが中学校に働きかけたことを契機に、中学生有志による「フレンズジュニア」が発足。中学生メンバーは新たに購入した本の準備や、推薦図書の紹介カード作成などをフレンズのメンバーと共に行っています。本年7月18日に1周年記念イベントを開催し、中学生メンバーが手作りのしおりの配布とフレンズ手作りの紙芝居「ふうたくんとえりちゃんのふしぎなおはなし」を披露。中学生は「飾りを作るのが楽しい。ちーたん文庫が大人も子どもも安心して過ごせる場所になってほしい」と語り、大原さんは「中学生たちと共に活動することで元気をもらっている」と、共に活動することの楽しさについて話してくれました。

▲1周年記念イベント

みんなのとしょぶ TAMBA TOSHO BU!

「図書館ビジョン」を受けて、市民主体による活動が始まっています。「みんなのとしょぶ」は、丹波市立中央図書館を拠点に、市民と図書館職員が協働して取り組む「部活動」です。「図書館ビジョン策定コアメンバー会議」のメンバー3名が発起人となり、活動しています。昨年度の図書館主催のワークショップで、「図書館について市民が語り合える場がほしい」という意見があり、それに応えるために、「図書館についてあれやこれや語る会」を月1回程度開催しています。語る会には、小学生から大人まで、多様な年代の方が参加し、図書館について楽しくお話しています。市民だけでなく、図書館職員も参加しており、普段は聞くことができない職員の想いや考えに触れる機会となり、図書館の役割について学び、その可能性を共に考える場になっています。語る会で出たアイデアは、図書館内部でも検討され、実現に向けた取り組みが始まっています。また、「みんなのとしょぶ」として、図書館にこたつを設置して、利用者がゆったりと過ごすことができるイベント企画を、図書館と連携して準備を進めています。

活動の様子はこちらから▼

丹波市内の「本のある場所」を紹介！

丹波市内には、図書館以外にも市民が気軽に本に出会える場所がたくさんあります。地域の人々の工夫で生まれた「まちの文庫」の一部を紹介します。

mamimumemo BOOKBOOK（氷上地域）

○場　　所：氷上町絹山 78
○利用時間：10:00 ～ 18:00（ 4 月～9 月 ）
　　10:00 ～ 17:00(10 月～3 月)
　　休）木・金・土
○利用方法：カフェ利用、本の閲覧・貸出・販売
○特　　徴：本を読むだけの場所ではなく、子ども
　　も大人も楽しめるワークショップもあり、
　　人と人がつながる場所になっています。

Instagram

ちーたん文庫（山南地域）

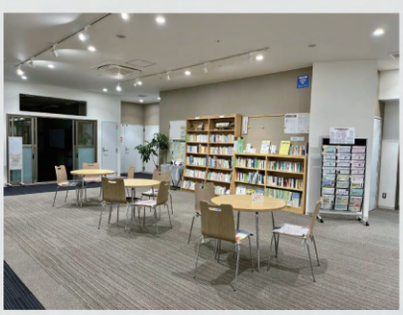
○場　　所：JR 谷川駅 待合室（山南町池谷）
○利用時間：駅待合室 利用可能時間と同じ
　　（5:30 ごろ～ 23:30 ごろ ）
○利用方法：本の閲覧・貸出
○特　　徴：FRIENDS のメンバーと地元の
　　中学生が一緒に運営をしています。

紹介ページ

ふなキッズふれあい図書室（春日地域）

○場　　所：丹波市立船城小学校内（春日町朝日 90）
○利用時間：毎週金曜日に地域開放
　　9:00 ～ 12:00
○利用方法：本の閲覧・貸出
○特　　徴：自治協議会主催のイベントも開催され、
　　子どもと大人が交流する場になっています。

船城小
ポータルサイト



丹波市市民プラザ（氷上地域）

○場　　所：丹波ゆめタウン 2 階
　　（氷上町本郷 300）
○利用時間：10:00 ～ 18:00
　　（月曜・年末年始休館）
○利用方法：男女共同参画センター　本の閲覧・貸出
　　市民活動支援センター　本の閲覧のみ（貸出不可）
○特　　徴：市民活動、地域づくり、生涯学習、男女共同参画などの
　　テーマを中心に、図書館には置いていない本も並んでいます。

市民活動
支援センター

男女共同
参画センター

本町の家（青垣地域）

○場　　所：青垣町佐治 683
○利用時間：Instagram をご確認ください。
○利用方法：Instagram をご確認ください。
○特　　徴：どなたでも本棚オーナーになれます。
　　興味のある方は佐治倶楽部まで。

Instagram

丹波市市民活動支援センター
TAMBA CITY CIVIL AND COMMUNITY ACTIVITIES CENTER
https://www.tamba-plaza.jp/ccac/

〒669-3467 兵庫県丹波市氷上町本郷300 丹波ゆめタウン2階 丹波市市民プラザ内
TEL 0795-82-8683　MAIL ccac@tamba-plaza.jp
開館時間 10：00 － 18：00（会議室は 21：30 まで）／毎週月曜日・年末年始休館